

米国建設機械動向

2020年2月

1. 主要建設機械の需給動向

(1) 販売動向

米国主要建設機械 2019年12月の販売台数は、全機種合計で前年同月比16.5%減(2,045台減)の10,365台となり、6ヶ月連続でマイナスとなった。機種別では、全機種で前年同月比がマイナスとなった。

(2) 生産動向

2019年12月の米国における建設機械の生産台数は、Utility Vehicles、油圧ショベル、その他の建設機械を除く全機種が前年同月比で減少した。

(3) 主要建設機械の輸出入動向

○輸出動向

2019年12月の建設機械輸出は、台数で前年同月比33.4%減(2,077台減)の4,141台、金額では35.2%減(1億3,728万ドル減)の2億5,227万ドルとなった。このうち、中古機輸出は、台数で5.9%減の885台、金額では6.8%増の3,393万ドルである。新車のみ輸出は、台数で38.3%減、金額では39.0%の減少となった。機種別では、その他のもの・タイヤドーザー、スクレーパーを除く全機種が前年同月比で減少した。

無限軌道式ブルドーザーは、最大輸出先であるカナダへの輸出が前年同月の150台(うち、中古機3台)から105台(うち、中古機29台)へ前年同月比で30.0%減少したのをはじめ、ベルギーへの輸出が同10台(うち、中古機7台)から実績無しとなり、ハンガリーへの輸出が同5台(全て新車)から実績無しとなった。一方、オーストラリアへの輸出が前年同月の10台(全て中古機)から38台(全て中古機)へ280.0%増加し、メキシコへの輸出が同28台(うち、中古機23台)から36台(うち、中古機30台)へ28.6%増加、ナイジェリア、イギリスへの輸出も増加した。全体としては前年同月比で7.8%の減少となった。

その他のもの・タイヤドーザーは、カナダへの輸出が前年同月の14台(全て中古機)から5台(全て中古機)へ前年同月比で64.3%減少したほか、ベトナムへの輸出が同6台(全て中古機)から実績無しとなり、ナイジェリア、カンボジアへの輸出も減少した。他方、前年同月に実績の無かったコロンビアへの輸出が12台(全て新車)へと増加し、前年同月に実績の無かったブラジルへの輸出が9台(全て中古機)へと増加、ジャマイカ、メキシコへの輸出も増加した。全体としては前年同月比で10.2%の増加となった。

グレーダー等平地ならし機は、カナダへの輸出が前年同月の54台から30台へ前年同月比で44.4%減少したほか、タイへの輸出が同15台から5台へ66.7%減少し、インドネシアへの輸出が同12台から実績無しとなり、エジプト、エクアドルへの輸出も減少した。他方、前年同月に実績の無かったチリへの輸出が1台から12台へと大幅に増加し、ペルーへの輸出が前年同月の7台から10台へ前年同月比で42.9%増、ナイジェリアへの輸出が同4台から8台へ100.0%増加、ブラジル、ホンジュラスへの輸出も増加した。全体としては前年同月比で19.4%の減少となった。

スクレーパーは、オーストラリアへの輸出が前年同月の2台(うち、中古機1台)から9台(うち、中古機8台)へ前年同月比で350.0%増加したほか、メキシコへの輸出が同1台(中古機)から3台(全て中古機)へ200.0%増加したため、カナダへの輸出が同3台(全て中古機)から実績無しとなったが、全体としては前年同月比で100.0%増加となった。

タイヤ・振動ロードローラーは、メキシコへの輸出が前年同月の88台(うち、中古機18台)から36台(うち、中古機23台)へ前年同月比で59.1%減少したほか、カナダへの輸出が同59台(うち、中古機44台)から17台(うち、中古機4台)へ71.2%減、ドイツへの輸出が同92台(全て新車)から2台(全て新車)へ97.8%減少し、サウジアラビア、オーストラリアへの輸出も減少した。他方、前年同月に実績の無かったフランスへの輸出が48台(全て新車)へと増加し、前年同月に実績の無かったジャマイカへの輸出が3台(うち、中古機2台)へと増加、マレーシア、ベトナムへの輸出も増加した。全体としては前年同月比で58.7%の減少となった。

ホイール・ローダーは、最大輸出先であるカナダへの輸出が前年同月の1,981台(うち、中古機61台)から1,119台(うち、中古機54台)へ前年同月比で43.5%減少したほか、オーストラリアへの輸出が同298台(うち、中古機10台)から178台(うち、中古機4台)へ40.3%減少し、チェコへの輸出が同153台(全て

新車) から 65 台 (全て新車) へ 57.5%減、メキシコ、ペルーへの輸出も減少した。他方、韓国への輸出が前年同月の 95 台 (全て新車) から 125 台 (うち、中古機 2 台) へ 31.6%増加し、ブラジルへの輸出が同 10 台 (全て新車) から 38 台 (うち、中古機 1 台) へ 280.0%増、中国への輸出が同 11 台 (全て新車) から 37 台 (全て新車) へ 236.4%増、イタリア、コロンビアへの輸出も増加した。全体としては前年同月比で 33.4%の減少となった。

油圧・機械式ショベル (上部構造が 360 度回転するもの) は、最大輸出先であるカナダへの輸出が前年同月の 592 台 (うち、中古機 35 台) から 298 台 (うち、中古機 28 台) へ前年同月比で 49.7%減少したほか、ベルギーへの輸出が 103 台 (全て新車) から 16 台 (全て新車) へ 84.5%減少し、オーストラリアへの輸出が同 58 台 (全て新車) から 11 台 (全て新車) へ 81.0%減、メキシコ、フランスへの輸出も減少した。他方、イタリアへの輸出が前年同月の 22 台 (全て新車) から 41 台 (全て新車) へ 86.4%増加したほか、コロンビアへの輸出が 4 台 (うち、中古機 3 台) から 13 台 (うち、中古機 8 台) へ 225.0%増加し、アルゼンチン、グアテマラへの輸出も増加した。全体としては前年同月比で 46.4%の減少となった。

油圧・機械式ショベル (その他のもの) は、最大輸出先であったカナダへの輸出が前年同月の 217 台 (うち、中古機 93 台) から 89 台 (うち、中古機 22 台) へ 68.7%減少したほか、コロンビアへの輸出が同 46 台 (うち、中古機 8 台) から 24 台 (うち、中古機 7 台) へ 47.8%減少し、チリへの輸出が同 33 台 (うち、中古機 3 台) から 2 台 (全て中古機) へ 93.9%減、ギニア、キューバへの輸出も減少した。他方、メキシコへの輸出が前年同月の 217 台 (うち、中古機 178 台) から 247 台 (うち、中古機 162 台) へ前年同月比で 13.8%増加し、前年同月に実績の無かったバハマへの輸出が 39 台 (うち、中古機 32 台) へと増加、ベルギー、イタリアへの輸出も増加した。全体としては前年同月比で 18.7%の減少となった。

米国における建設機械輸出動向 (12月)

(単位：台、百万ドル)

	2019.12		2018.12		増減(%)	
	台数	金額	台数	金額	台数	金額
無限軌道式ブルドーザー	225	27.942	244	31.444	▲ 7.8	▲ 11.1
(うち中古機)	137	7.338	69	3.788	98.6	93.7
その他のもの・タイヤドーザー	54	4.472	49	1.910	10.2	134.1
(うち中古機)	42	3.287	47	1.834	▲ 10.6	79.2
グレーダー等平地ならし機	145	26.936	180	40.531	▲ 19.4	▲ 33.5
スクレーパー	12	1.206	6	1.193	100.0	1.1
(うち中古機)	11	0.753	5	0.681	120.0	10.6
タイヤ・振動ロードローラー	162	3.603	392	7.977	▲ 58.7	▲ 54.8
(うち中古機)	51	1.437	90	2.322	▲ 43.3	▲ 38.1
ホイール・ローダー	2,309	118.305	3,466	159.548	▲ 33.4	▲ 25.8
(うち中古機)	156	6.487	192	6.471	▲ 18.8	0.3
油圧・機械式シャベル (360 度回転)	572	45.029	1,067	115.560	▲ 46.4	▲ 61.0
(うち中古機)	123	5.131	133	6.203	▲ 7.5	▲ 17.3
油圧・機械式シャベル (その他)	662	24.775	814	31.384	▲ 18.7	▲ 21.1
(うち中古機)	365	9.500	404	10.482	▲ 9.7	▲ 9.4
全合計	4,141	252.268	6,218	389.548	▲ 33.4	▲ 35.2
(うち中古機合計)	885	33.934	940	31.781	▲ 5.9	6.8

(出所) U.S. Dept. of Commerce, Bureau of Census

1 2月の国別輸出動向

(単位：百万ドル)

(単位：台)

	金額	2019.12	2018.12	増減
1	Canada	112.422	205.350	▲ 45.3
2	Australia	19.150	22.076	▲ 13.3
3	Mexico	17.235	25.075	▲ 31.3
4	Belgium	11.982	14.152	▲ 15.3
5	South Africa	9.851	1.569	527.9
6	Colombia	8.655	3.087	180.4
7	Italy	6.421	5.368	19.6
8	France	5.573	5.441	2.4
9	Brazil	4.658	2.141	117.5
10	Peru	4.529	29.396	▲ 84.6
	Others	51.793	75.892	▲ 31.8
	Total	252.268	389.548	▲ 35.2

	台数	2019.12	2018.12	増減
1	Canada	1,663	3,137	▲ 47.0
2	Mexico	514	587	▲ 12.4
3	Australia	251	402	▲ 37.6
4	Belgium	204	294	▲ 30.6
5	Italy	155	118	31.4
6	Korea, South	125	95	31.6
7	France	90	60	50.0
8	Colombia	75	61	23.0
9	Peru	68	82	▲ 17.1
10	Czech Republic	65	153	▲ 57.5
	Others	931	1,229	▲ 24.2
	Total	4,141	6,218	▲ 33.4

(出所) U.S. Dept. of Commerce, Bureau of Census

○輸入動向

2019年12月の建設機械輸入は、台数で前年同月比30.5%減の9,822台、金額では43.0%減の4億507万ドルとなった。このうち、中古機の輸入は、台数で2.1%減の284台、金額では28.1%減の1,294万ドルである。新車のみの輸入は、台数で31.1%減、金額で43.4%の減少となった。機種別では、無限軌道式ブルドーザー、油圧・機械式ショベル（その他）を除く全機種が前年同月比で減少した。

無限軌道式ブルドーザーでは、日本からの輸入が前年同月の114台（うち、中古機2台）から154台（うち、中古機2台）へ前年同月比で35.1%増加したほか、前年同月に実績の無かった韓国からの輸入が319台（全て新車）へと大幅に増加し、ブラジルからの輸入が同43台（全て新車）から64台（うち、中古機1台）へ48.8%増加した。他方、カナダからの輸入が前年同月の12台（うち、中古機1台）から2台（うち、中古機1台）へ83.3%減少し、中国からの輸入が同23台（全て新車）から実績無しとなり、フランスからの輸入が同3台（全て中古機）から実績無しとなった。全体としては前年同月比で175.5%の増加となった。

その他のもの・タイヤドーザーは、オーストリアからの輸入が前年同月の5台（全て新車）から4台（全て新車）へ前年同月比で20.0%減少したほか、日本からの輸入が同2台（全て中古機）から1台（中古機）へ50.0%減少し、メキシコからの輸入が同1台（新車）から実績無しとなったため、全体としては前年同月比で37.5%の減少となった。

グレーダー等平地ならし機は、輸入の大半を占めるブラジルからの輸入が前年同月の150台から69台へ前年同月比で54.0%減少したほか、中国からの輸入が同11台から3台へ72.7%減、日本からの輸入が同9台から3台へ66.7%減少したため、イタリアからの輸入が同4台から9台へ125.0%増加したが、全体としては前年同月比で51.4%の減少となった。

スクレーパーは、カナダからの輸入が前年同月の2台（全て中古機）から1台（中古機）へ前年同月比で50.0%減少したため、全体としても前年同月比50.0%減少となった。

タイヤ・振動ロードローラーは、日本からの輸入が前年同月の1,475台（全て新車）から1,042台（全て新車）へ前年同月比で29.4%減少したほか、ドイツからの輸入が1,597台（うち、中古機16台）から391台（うち、中古機5台）へ75.5%減、フィリピンからの輸入が同492台（全て新車）から実績無しとなり、中国、ブラジルからの輸入も減少した。他方、前年同月に実績の無かったアイルランドからの輸入が29台（全て中古機）へと増加し、イギリスからの輸入が同1台（中古機）から51台（うち、中古機2台）へと大幅に増加、イギリスからの輸入が前年同月の2台（全て中古機）から10台（うち、中古機6台）へ前年同月比400.0%増、前年同月に実績の無かったアラブからの輸入が6台（全て中古機）へと増加した。全体としては前年同月比で50.9%の減少となった。

ホイール・ローダーは、日本からの輸入が前年同月の2,041台（うち、中古機16台）から764台（うち、中古機6台）へ前年同月比で62.6%減少したほか、ブラジルからの輸入が同232台（全て新車）から38台（全て新車）へ83.6%減、ドイツからの輸入が同179台（うち、中古機9台）から127台（うち、中古機4台）へ29.1%減少し、イタリア、スウェーデンからの輸入も減少した。一方、韓国からの輸入が前年同月の678台（全て新車）から736台（全て新車）へ8.6%増加し、イギリスからの輸入が同166台（うち、中古機17台）から195台（うち、中古機8台）へ17.5%増、オーストリアからの輸入が136台（うち、中古機1台）から168台（全て中古機）へ23.6%増、フランス、ベルギーからの輸入も増加した。全体としては前年同月比で37.0%の減少となった。

油圧・機械式ショベル（上部構造が360度回転するもの）は、輸入の大半を占める日本からの輸入が前年同月の3,636台（うち、中古機104台）から2,400台（うち、中古機67台）へ前年同月比で34.0%減少したほか、韓国からの輸入が同386台（うち、中古機7台）から260台（うち、中古機7台）へ32.6%減少し、オーストリアからの輸入が同162台（全て新車）から36台（全て新車）へ77.8%減、ドイツ、イタリアからの輸入も減少した。他方、中国からの輸入が前年同月の205台（うち、中古機1台）から386台（全て新車）へ前年同月比で88.3%増加し、タイからの輸入が同4台（全て新車）から339台（全て新車）へと大幅に増加、チェコからの輸入が同62台（うち、中古機2台）から186台（全て新車）へ200.0%増、ベルギー、カナダからの輸入も増加した。全体としては前年同月比で19.2%の減少となった。

油圧・機械式ショベル（その他のもの）は、最大輸入元であるイギリスからの輸入が前年同月の478台（うち、中古機2台）から279台（うち、中古機1台）へ前年同月比で41.6%減少したほか、中国からの輸入が同9台（全て新車）から3台（全て新車）へ66.7%減、ベトナムからの輸入が6台（全て中古機）から実績無しとなり、オーストリアからの輸入も減少した。他方、韓国からの輸入が前年同月の16台（全て新車）から141台（全て新車）へ前年同月比で781.3%増加したほか、前年同月に実績の無かったフィンランドからの輸入が68台（うち、中古機17台）へと増加し、イタリアからの輸入が同36台（全て新車）から57台（全て新車）へ58.3%増、オランダ、カナダからの輸入も増加した。全体としては前年同月比で5.2%の増加となった。

米国における建設機械輸入動向（12月）

（単位：台、百万ドル）

	2019.12		2018.12		増減(%)	
	台数	金額	台数	金額	台数	金額
無限軌道式ブルドーザー	540	27.953	196	30.572	175.5	▲ 8.6
（うち中古機）	5	0.917	17	1.004	▲ 70.6	▲ 8.7
その他のもの・タイヤドーザー	5	1.706	8	1.218	▲ 37.5	40.0
（うち中古機）	1	0.048	2	0.036	▲ 50.0	35.8
グレーダー等地面らし機	87	17.993	179	35.822	▲ 51.4	▲ 49.8
スクレーパー	1	0.002	2	0.003	▲ 50.0	▲ 23.4
（うち中古機）	1	0.002	2	0.003	▲ 50.0	▲ 23.4
タイヤ・振動ロードローラー	2,126	17.690	4,331	37.694	▲ 50.9	▲ 53.1
（うち中古機）	59	1.748	33	1.042	78.8	67.8
ホイール・ローダー	2,413	110.126	3,831	242.103	▲ 37.0	▲ 54.5
（うち中古機）	76	2.339	55	3.137	38.2	▲ 25.4
油圧・機械式シャベル（360度回転）	4,042	203.086	5,002	329.685	▲ 19.2	▲ 38.4
（うち中古機）	110	6.811	168	12.374	▲ 34.5	▲ 45.0
油圧・機械式シャベル（その他）	608	26.511	578	33.511	5.2	▲ 20.9
（うち中古機）	32	1.068	13	0.394	146.2	171.0
全合計	9,822	405.067	14,127	710.608	▲ 30.5	▲ 43.0
（うち中古機合計）	284	12.935	290	17.990	▲ 2.1	▲ 28.1

（出所） U.S. Dept. of Commerce, Bureau of Census

1 2月の国別輸入動向

(単位：百万ドル)

(単位：台)

	金額	2019.12	2018.12	増減
1	Japan	174.653	339.794	▲ 48.6
2	Brazil	36.916	100.113	▲ 63.1
3	Korea, South	35.945	56.121	▲ 36.0
4	China	33.902	43.880	▲ 22.7
5	United Kingdom	28.853	48.451	▲ 40.4
6	Germany	22.306	45.693	▲ 51.2
7	Austria	18.839	19.333	▲ 2.6
8	Italy	16.256	16.214	0.3
9	Belgium	9.280	3.981	133.1
10	France	7.631	9.789	▲ 22.0
	Others	20.485	27.239	▲ 24.8
	Total	405.067	710.608	▲ 43.0

	台数	2019.12	2018.12	増減
1	Japan	4,373	7,281	▲ 39.9
2	Korea, South	1,457	1,080	34.9
3	China	975	868	12.3
4	Germany	653	1,988	▲ 67.2
5	United Kingdom	494	720	▲ 31.4
6	Thailand	342	5	6,740.0
7	Italy	323	407	▲ 20.6
8	Czech Republic	267	182	46.7
9	Austria	208	304	▲ 31.6
10	Belgium	200	51	292.2
	Others	530	1,241	▲ 57.3
	Total	9,822	14,127	▲ 30.5

(出所) U.S. Dept. of Commerce, Bureau of Census

2. 業界動向等

(1) 2019年12月の建設費支出

米国商務省統計局発表の2019年12月の建設支出総額は、季節調整済み年率換算で1兆3,277億ドルで、11月の1兆3,299億ドルから0.2%減少となった。前年同月比では5.0%の増加である。

2019年の建設出来高は1兆3,035億ドルとなり、2018年の1兆3,072億ドルから0.3%減少した。

2019年12月の民間建設支出額は、季節調整済み年率換算で9,912億ドルで、前月の9,922億ドルから0.1%減少した。このうち、住宅に対する支出は同5,407億ドルで、前月の5,333億ドルから1.4%増加した。

2019年の民間建設出来高は、9,747億ドルとなり、2018年の1兆2億ドルから、2.5%減少した。このうち、住宅建設出来高は5,143億ドルで、前年の5,396億ドルから4.7%減少した。

2019年12月の公共建設支出額は、季節調整済み年率換算で3,364億ドルとなり、前月の3,377億ドルから0.4%減少した。このうち、教育建設支出額は同804億ドルで、前月の821億ドルから2.1%減少した。また、高速道路建設支出額は同999億ドルで、前月の969億ドルから3.1%増加した。

2019年の公共建設出来高は、3,288億ドルとなり、2018年の3,071億ドルから7.1%増加した。このうち、教育建設出来高は790億ドルで、前年の764億ドルから3.4%増加した。また、高速道路建設出来高は923億ドルで、前年の823億ドルから12.2%増加した。

(単位：10億ドル)

建設タイプ	2019年 12月(p)	2019年 11月(r)	2019年 10月(r)	2019年 9月	2019年 8月	2018年 12月
建設全体	1,327.7	1,329.9	1,320.8	1,315.2	1,306.0	1,264.8
民間建設(*1)	991.2	992.2	986.3	980.0	976.7	963.2
住宅	540.7	533.3	525.3	522.5	518.5	512.3
宿泊	29.7	30.7	32.2	31.4	32.6	31.2
オフィス	68.5	68.6	68.7	68.9	68.9	65.7
商用	78.5	81.1	81.7	81.1	79.3	81.8
医療	34.2	34.8	35.0	35.0	34.3	33.9
教育	17.9	18.2	18.5	18.9	18.6	19.9
宗教	2.9	2.9	2.9	2.8	2.8	3.2
娯楽	13.2	13.5	13.5	13.4	13.8	15.5
交通	16.3	16.3	16.4	16.8	16.4	18.1
通信	23.5	23.3	23.0	23.4	23.6	24.6
電力	90.1	90.4	91.7	92.1	93.6	85.3
製造	74.4	77.6	75.9	72.1	72.7	70.3
公共建設(*2)	336.4	337.7	334.5	335.3	329.3	301.6
住宅	7.3	7.1	7.3	6.9	6.7	5.6
オフィス	10.8	11.5	11.3	11.2	11.1	9.9
商用	4.1	4.0	4.6	4.5	4.2	4.3
医療	8.8	8.8	9.0	9.1	9.1	8.7
教育	80.4	82.1	83.1	81.7	78.6	77.3
公安	10.7	10.8	10.7	10.4	10.5	9.7
娯楽	13.8	14.0	13.8	13.7	14.2	12.4
交通	38.7	39.2	38.6	38.9	39.1	34.4
電力	7.4	7.7	7.2	7.2	7.3	5.3
高速道路・道路	99.9	96.9	94.1	97.2	95.1	87.5
下水・廃棄物処理	25.4	26.1	26.1	26.6	26.2	23.4
上水道	17.7	18.0	17.5	16.8	16.1	13.2
保護地域・開発	10.0	9.8	9.7	9.4	9.5	8.6

出典：The Census Bureau of the Department of Commerce

Note: (p) : Preliminary、(r) : Revised

(*1) 民間建設における、公安、高速道路・道路、下水・廃棄物処理、上水道、保護地域・開発に関する建設費を含むが、項目立てされていない。

(*2) 公共建設における、宿泊、宗教、通信、製造に関する建設費を含むが、項目立てされていない。

(2) 2020年1月の住宅着工件数

2020年1月の新規住宅着工件数は、12月の162万6千戸（調整済み）から3.6%減の156万7千戸（季節調整済み年率換算）となった。前年同月比では21.4%の増加である。一戸建住宅は、101万戸で、前月比で5.9%減、前年同月比では4.6%増となった。また、集合住宅は、54万7千戸で、前月比3.0%増、前年同月比では77.6%増となった。地域別に見ると、北東部が前月比で31.9%増加となり、中西部が同25.9%減、最も着工件数が多い南部が5.4%減、西部は1.2%増加した。一方、2020年1月の住宅許可件数は、前月比9.2%増の155万1千戸（季節調整済み年率換算）となり、前年同月比では17.9%増加した。

以上